

# 救援・復興県民会議だより

〈発行〉東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議 No.15 (13・3・22)

〒020-0015

盛岡市本町通2-1-36

浅沼ビル6F

電話・FAX(兼)

019-601-5133

メールアドレス

fukkou\_ikg@hyper.ocn.ne.jp

## 「東日本大震災津波2年のつどい」バスツアー企画

及川三郎さんの案内で、2013年3月初旬の陸前高田市内をめぐる



(案内役を務めて頂いた及川三郎さん)



3月22日に復元の式典を予定する「奇跡の一本松」を川の対岸から見ました。

(復元中の「奇跡の一本松」) これから、松の枝部分が据え付けられます。(その後、据え付け角度が違ったため、式典日が延期となりました)

「東日本大震災津波2年のつどいin大船渡」開催参加者のためにバスツアーを計画しました。朝7時半に盛岡を出発し、41名を乗せた大型バスは10時半に陸前高田市内に到着。旧酔仙酒造会社の跡地にある物産センターには、案内役をお願いをした及川三郎さん(元県医労委員長)が待っていました。



(バスツアーの参加者一同)

及川さんは、自宅を津波で流され仮設住宅で暮らしています。



←この変色した地点まで津波が押し寄せました。

(旧酔仙酒造会社跡地、現在、物産センターがあります)

参加者は、実際の大津波の高さを目で確認することができました。



次に、国道45号線にあった旧「道の駅」敷地内に設置をされた「慰霊碑」を訪れ、参加者全員

で犠牲者を追悼しました。



←海側を通る、国道45号線沿いのガソリンスタンドの看板(破損しているとこまで津波が押し寄せました)

陸前高田市は3月中旬に中心部の建物を全て解体する予定ですが、今も行方不明者を捜索中で



す。仮復旧の国道45号線を走行中の車窓から見える旧雇用促進住宅(4階まで津波が)です。参加者は、「2年のつどい」開催地の大船渡市に向けて北上をしました。